

ハエ目

ハエやカの仲間も多くの水生の種類を含んでいます。ハエ目は同じ科の中でも、幼虫が水生の種類と湿った土壌中などに生息する種類の両方を含んでいる場合が多いようですが、アミカ科やブユ科は全ての種類が流水中に生息しています。

人や家畜から吸血するカやブユ、アブの仲間などの害虫も含んでいます。



ユスリカ成虫

夜間に燈火に集まっている個体を一度は見たことがあるものと思います。

ガガンボ科 (ハエ目)

水生昆虫の中では比較的大型ですが、脚が無く頭も通常体の中に引きこまれていますので、どちらが頭かも良くわからない不思議な形をした生き物です。写真は全て左側が頭部で、腹端には呼吸管がついています。

大型のガガンボ属、ビロード状の毛に覆われ尾端が淡色で膨らんでいるヒゲナガガガンボ属、小型で体に横縞があるウスバガガンボ属などがよく見つかります。ヒゲナガガガンボ属の種は砂の中に潜っていることが多く網を使わないとあまり採集されませんが、鋭い口器で他の生き物を捕食しており、つかんだとき咬まれることもあります。



ガガンボ属の一種

落ち葉の下や植物の根際などで見つかります。



ヒゲナガガガンボ属の一種

網で砂をすくうとよく採集されます。



ウスバガガンボ属の一種

流れのある石の表面に巣を作って生活しています。

アミカ科 (ハエ目)

前方に突き出た触角と、体節が大きく側方に張り出し、節間がくびれた独特の体型をしていますので見つければ他の生物との区別は容易です。体の腹面には6個の吸盤があり河川上流部で岩などに吸着して生息しています。



スカシアミカ
腹面にある吸盤で岩に貼りついています。

ユスリカ科 (ハエ目)

小型であり目立たないのですが、水生昆虫の中でも最も多くの種類を含んでいると考えられている仲間です。種によってきれいな川から汚濁した川、水たまりや水田など様々な水系に生息しています。幼虫で種まで調べることは専門家でも困難ですが、一般に「赤虫」として知られている赤い色をした種類は汚濁した水域で見られます。指標生物としては「赤いユスリカ」と「その他のユスリカ」を区別して使うことが多いようです。ユスリカ科の成虫は蚊に似ていますが、蚊のように吸血することはありません。ただ、都市河川周辺等で大量に成虫が羽化した場合には、不快昆虫として苦情が寄せられることもあります。



セスジユスリカ
都市河川などで多数発生する代表的な「赤いユスリカ」です。腹端には2対の鰓があります。



エリユスリカ亜科の一種
ユスリカ科の大部分は赤くはなく、生息環境も様々で、きれいな河川でも普通に生息していますが、小さくて色も薄いために気づかれないことが多いようです。

ヌカカ科 (ハエ目)

ヌカカ科の成虫には人や家畜から吸血する種もありますが、その他の種類についての生活史はほとんどわかっていません。土壌中やため池などに生息する種類もありますが、河川中にも多くの種類が生息しています。



ムシキヌカカ亜科の一種

容器の中では体を素早くくねらせて泳いでいるのが観察されます。

チョウバエ科 (ハエ目)

腹端の呼吸管を水面に出して、完全に水没することなく生活しています。ホシチョウバエやオオチョウバエは排水溝の周りにも多く、成虫は家屋内でもよく見られます。これらの種は汚濁が進んだ水系でよく見られるのですが、河川上流部でコケの中などに生息している種もあります。



ホシチョウバエ



オオチョウバエ

ブユ科 (ハエ目)

腹端が丸く膨れた形をしており、岩や水生植物の葉等の平坦な場所に腹端を固着させて、流れてくる餌を食べています。成虫はブヨやブトとも呼ばれ吸血する虫として知られていますが、人体から吸血するのはアシマダラブユなど一部の種です。



ブユ科の一種



ブユの蛹

水草などに蛹がついているのもよく目に付きます。

ホソカ科 (ハエ目)

細長い筒状の体をしています。川岸の植物が繁茂した緩やかな流れや細流などでよく採集されますが詳しい生態等はわかりません。



ホソカ属の一種

独特の腹端の形で他の科と区別可能です。通常、体をU字型に折り曲げています。

アブ科 (ハエ目)

アブ科の幼虫は土壌中や朽ち木中に生息している種もありますが、水生の種も多数知られています。砂中や川岸近くの土壌中に生息する種が多く、あまり見つかることはありませんが、比較的大型で、両端が細く尖ったような体型をしており、他との区別は容易です。



アブ科の一種

ナガレアブ科 (ハエ目)

上中流部で主に見つかります。ハエ目の幼虫は脚は持ちませんが、ナガレアブ科は腹部に擬脚と呼ばれる突起を持っています。また、背面にも細長い突起が見られます。



ナガレアブ属の一種

擬脚

ミズアブ科 (ハエ目)

ミズアブ科の幼虫は、水生の種以外にも糞尿や塵芥などを餌とする種も知られています。水生の種も、ため池や水田などの止水域でよく見つかりますが、流れが緩やかな下流部の川岸近くでも見つかります。



ミズアブ科の一種